

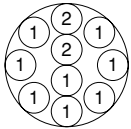
16 通信ケーブルの心線識別方式

表16-0-1

内容	方式	トレーサ方式	カラーコード方式	コードマーク方式
構成基準		絶縁体の色別によって、3種類の対またはカッドを構成。これらを一定の法則で同一層に順次配列する。 第1種対：赤-白 第1種カッド：赤赤-白白 第2種対：青-白 第2種カッド：青青-白白 第3種対：赤-青 第3種カッド：赤赤-青青	絶縁体の色数を多くし、これらを一定法則のもとに組み合わせ対およびカッドを構成。色別した粗巻きと併用して、さらに多数の組み合わせを形成する。	絶縁体の色および絶縁体上に施した色条および色条の形状により1心ごとに識別する。
識別方法		各層に基点となるべき種類の対またはカッドを1つ配置し（トレーサ）これを基準にして何番目の対またはカッドであるかを計数する。層内の計数方向（回り方向）はあらかじめ約束しておく。 例：第3層8番対白心	色により判別する。 例：黄色ユニット紫色カッド黒色心	テーブル化した識別表（コード表）による。 例：28番対第1種心線
特長		最も一般的な方法で、色の数が少なくても多数の識別ができる。	色で識別するため誤りがない。	非常に多くの識別ができる。
欠点		層配列が乱れると識別困難になる。	色数に限界があり、色別粗巻きを必要とする。	コードマークが定着しやすい絶縁体材料とする必要がある。
適用例		市内対PE絶縁ケーブル 市外PEFケーブル	PECケーブル CCPケーブル CCP-Fケーブル	ACバスケーブル

■方式の例

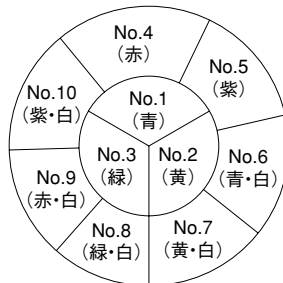
〈トレーサ方式〉



(注) 数字は対の種類を示す

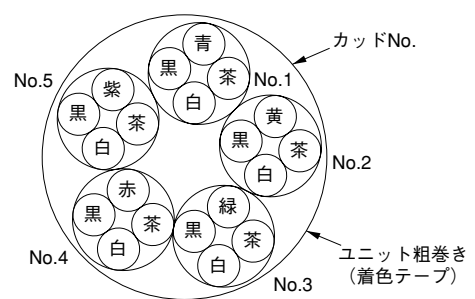
〈カラーコード方式〉

100対（10ユニット）



() 内はユニット粗巻きテープの色を示す。

10対ユニット



標準色別

種類	色別	備考
第1種対	赤-白	一般対
第2種対	青-白	トレーサ対

〈コードマーク方式〉

線番	絶縁体色	1ピッチのプリントマーク	プリントマークの色			線番	絶縁体色	1ピッチのプリントマーク	プリントマークの色		
			第1種線心	第2種線心	第3種線心				第1種線心	第2種線心	第3種線心
1	青	—	赤	黒	濃緑	16~20	*	----	赤	黒	濃緑
2	桃	—	赤	黒	濃緑	21~25	*	(短点連続)	赤	黒	濃緑
3	緑	—	赤	黒	濃緑	26~30	*	—	赤	黒	濃緑
4	鶯	—	赤	黒	濃緑	31~35	*	---	赤	黒	濃緑
5	鼠	—	赤	黒	濃緑	36~40	*	----	赤	黒	濃緑
6~10	*	---	赤	黒	濃緑	41~45	*	-----	赤	黒	濃緑
11~15	*	-----	赤	黒	濃緑	46~50	*	-----	赤	黒	濃緑

(備考) 1.*印は青、桃、緑、鶯、鼠の順にくり返すことを示す。
2.-は短点、—は長点、——は長線。